

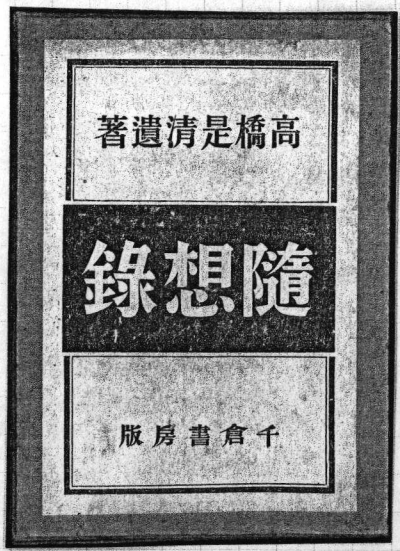
高橋是清 （政治小説） 政治家。嘉永七年閏七月二十七日自江戶生れ、昭和十一年一月二十七日歿（八十五歳）。舊姓河村、幼名喜和次。號岳庵。

アメリカに渡り苦學。明治十四年農商務省入省、のち初代特許局長を経て日本銀行に轉じ、二十一年副總裁、二十八年貴族院議員。次は横濱正金銀行頭取、日銀總裁を務め、大正二年藏相、十年首相、政友會

總裁、十二年衆議院議員。昭和二年以降田中・大隈・齋藤・岡田各内閣藏相歴任も、一・二六事件で暗殺せられた。子爵。

著書 『我半生の奮闘』（合著・井上泰岳編、明治四十一年十一月）『八日博文館』、『經濟隨想』（合著・東京朝日新聞經濟部編、昭和十一年五月七日日本評論社）、『半生の體験―世に處する道』（昭和十一年一月）『千八日今日の問題社』、『高橋是清自傳』（上塚司編、昭和十一年一月九日千倉書房）、遺著 『隨想錄』（昭和十一年二月）『千倉書房』等。

文獻 野依秀市著 『高橋是清とその政治』（昭和九年十一月）『帝都白話新報社出版部』、『秋月止雄著 『千波世界社出版部』、萬淵人編 『高橋是清』（昭和十一年四月十日）『千倉書房』、同 『高橋是清傳』（昭和十一年一月）『千倉書房』、今村武雄著 『評傳高橋是清』（昭和二十三年十一月五日時事通信社）、大島清著 『高橋是清―財政家の教育と生涯』（昭和四十四年一月）『千倉中央公論社』『中公新書』）等。



清』（昭和二十三年十一月五日時事通信社）、大島清著 『高橋是清―財政家の教育と生涯』（昭和四十四年一月）『千倉中央公論社』『中公新書』）等。